（８） 歳入歳出収支見込（令和8年度一般会計当初予算ベース）

１．歳入

（単位：百万円）

		R7年度	R8年度（ベース）	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
自主財源		17,796	18,315	16,967	16,899	16,865	16,741
	市税	12,854	13,066	13,063	13,121	13,174	13,096
	ボート基金繰入金	914	1,888	963	912	897	897
	その他	4,028	3,361	2,941	2,866	2,794	2,748
依存財源（交付金、譲与税、国県支出金、地方債）		10,974	12,595	11,703	10,893	10,582	10,644
①歳入合計		28,770	30,910	28,670	27,792	27,447	27,385

２．歳出

（単位：百万円）

		R7年度	R8年度（ベース）	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
義務的経費		12,587	13,947	13,509	13,729	13,771	13,923
	人件費	4,761	5,166	5,213	5,261	5,225	5,275
	扶助費	5,586	5,544	5,613	5,613	5,613	5,613
	公債費	2,240	3,237	2,683	2,855	2,933	3,035
消費的経費		10,893	11,181	9,976	9,906	10,057	9,918
投資的経費		2,760	4,168	3,779	3,100	2,644	2,399
その他		2,530	2,714	2,474	2,478	2,371	2,378
②歳出合計		28,770	32,010	29,738	29,213	28,843	28,618

３．財源不足額

（単位：百万円）

	R7年度	R8年度（ベース）	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
③歳入歳出差引①－②（財源過不足額）	0	△ 1,100	△ 1,068	△ 1,421	△ 1,396	△ 1,233

※実際の収支不足額をわかりやすくするため、臨時的財政措置である財政調整基金の活用を歳入から除いて表示しています。

４．財源不足額の補填

（単位：百万円）

		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
財政調整基金	(A)歳計剰余金に係る積立額		211	200	200	200	200
	(B)財源不足額取崩前残高		3,559	2,659	1,791	570	200
	(C)取崩額（財源不足額分）		1,100	1,068	1,421	570	200
	(D)年度末残高　(B)-(C)	3,348	2,459	1,591	370	**0**	**0**
財政調整基金で補えない不足額　③+(C)			**0**	**0**	**0**	△ 826	△ 1,033
まちづくり基金ボートレース	(E)財源不足額取崩前残高		9,302	8,340	7,428	10,030	11,807
	(F)取崩額（財源不足額分）		0	0	0	826	1,033
	(G)年度末残高　(E)-(F)	7,599	9,302	8,340	7,428	9,204	10,774

※令和7年度末残高は、3月補正後見込み

５．今後の財政運営の考え方

令和9年度以降の試算では、財源不足額を全て基金で補填している状況ですが、このままのペースで基金が年々減少すると、健全な財政運営が確保できなくなる恐れがあります。

このような状況に陥らないよう、将来事業については事業の優先順位づけや規模の適正化を、既存事業については段階的な見直しを今まで以上に図っていく必要があります。

また、ボートレース事業収益に過度に依存せず、持続可能な財政運営に取り組んでいく必要があります。